

私たちはボランティア精神のもと
「市民後見人」として、地域社会に貢献することを目指します。

会報/市民後見人の会 No. 135

2019年2月26日発行 通巻No.145号

創刊2007年2月26日

発行/特定非営利活動法人 市民後見人の会

〒140-0014 東京都品川区大井1-15-1 品川成年後見センター分室3階

TEL : 080-3912-3259 (通話専用 月～金曜日の10時～16時の間対応します。)

TEL&FAX : 03-6303-8265

MAIL : npokouken@gmail.com HP : <http://www.shiminkoukenninnokai.jp>

◆月曜カフェ◆

1月28日(月)、第14回月曜カフェが品川区役所「啓発展示室」で開催されました(10時～12時 14名参加)。テーマは「税、確定申告について」。講師は本会理事の内山恵子さん。会員個人にとっても、また本会が受任している被後見人の方たちの財産を守る上でも大事なテーマです。現職の税理士の立場から「税にまつわる話」、「どのような場合に確定申告が必要なのか」、「確定申告をする上での留意点」等々を分かりやすく語って頂き、その後の質疑応答も活発になされ充実した2時間でした。



◆地域でつながるみんなの暮らし展◆

2月23日(土)に「地域でつながるみんなの暮らし展2019」(主催:同展実行委員会・品川区)が大井町きゅりん7階のイベントホールで開かれ、本会広報部会がブースを出し、パネル展示をしました。本会のチラシを来場した多くの方たちに配布し、興味を持った方たちが本会ブースを訪れ、広報部会会員の説明を熱心に聞き入っていました。



◆1 月度理事会報告◆

1. 開催日時 平成 31 年 1 月 21 日（月）17 時 00 分～19 時 10 分
2. 開催場所 品川区本会事務所
3. 出席理事 朝倉鈴子、内山恵子、金城清、古賀忠壹、小松統、澤谷義則、杉谷徹夫、高橋宣子、高原三平各理事
4. オブザーバー 青木誠監事
5. 古賀理事長挨拶

年頭に当たり、古賀理事長から挨拶があった。「活動の質向上で、飛躍の年に!!」（会報 134 号参照）に記したように、課題として会の組織面での恒常化・強化を図ると共に、あとに続く人材の発掘育成を図りたい。他の団体との連携を密にして、法人としての運営面での再構築を考えたい。各部会では、後見部会は後見の質の向上を図りたい。研修部会は会員の質の向上、養成講座の講師陣の見直しや社協主催講座との比較検討などを勧めたい。広報部会は個人プレイから組織的に行う部会へとしていきたい。事務局は更なる効率的な分業化を進めると同時に、月曜カフェの充実を望みたい。

6. 議事

<審議事項>①(株)コンパス保険の「業務従事者の傷害保険」に加入することを決議した。

②社協成年後見センター事業立替基金の適用申請（42 号 40 万円）することを決議した。

<協議事項>①平成 31 年度事業計画・予算提出書式について協議した。

②平成 31 年度各部会・事務局委員及び予算編成割振りについて協議した。

<報告・連絡事項>①21 号が、平成 30 年 12 月 31 日、施設で逝去された旨の報告があった。（小松）

②社協より社協主催市民後見人養成講座実務研修への講師依頼があった。（高原）

③平成 31 年度通常総会開催に向けての日程について連絡があった。（高原）

④1 月度監督人・後見人等連絡会（1 月 21 日開催）について報告があった。（小松）

⑤社協貸金庫使用承認の報告があった。（1 台追加で計 2 個となる）（高原、小松）

⑥平成 30 年度市民後見人養成講座の申込者が現在 18 名との報告があった。（杉谷）

⑦情報交換会（1 月 19 日後見部会主催）の報告があった。24 名の参加で、皆の意見を広く聴くことができ有意義だった。（小松、澤谷）

⑧いきいきシニアサロン（1 月 10 日）に於いて、本会青木監事が成年後見制度について講義した旨報告があった。参加者は 35 名（内本会会員 8 名）（金城）

⑨HP 更新について、リニューアルしたとの連絡があった。（金城）

<今後の予定>①月曜カフェ：2 月 25 日（月）、3 月 25 日（月）②地域でつながるみんなの暮らし展：2 月 23 日（土）③部会長連絡会：3 月 11 日（月）④理事会：3 月 18 日（月）（高原三平 記）

2 月 9 日（土）から本会が主催する平成 30 年度市民後見人養成講座（会場：品川第一地域センター、申込者 19 名、全 6 日、終了：3 月 10 日）が始まりました。詳細は次号で報告します。（編集/金城 清）